

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2018年6月27日

報告書名：平成29年度 日本 NGO 連携無償資金協力 中間報告書

平成29年度 日本 NGO 連携無償資金協力 中間報告書

2018年6月27日

事業名	初等教育改善事業 Project for Improvement of Primary Education
事業対象地	アフガニスタン カブール市およびナンガハル県
事業期間	事業期間：2018年1月26日～2019年1月25日
公的資金種別	平成29年度日本 NGO 連携無償資金協力
契約金・支出状況	契約額：95,545,799円（支出額：32,228,640円）
プロジェクト目標および、達成度	「カブール市およびナンガハル州の児童の学習環境の改善」を目的にこの事業を実施している。以下のとおり、事業全体は計画通りに進んでいる。 (ア) 12クラス、415名の児童が安全で快適な教室で学習できている。 校舎は未だ建設段階にあるため未達成である。現在の進行状況は前述の通り。おおむね計画通り進行しており、大きな遅れに繋がる問題は見られない。 (イ) 対象校23校に置いてひと月当たり300冊以上の図書が貸し出されている。 モニタリングの結果によると、6月までに活動を実施した学校6校のうち5校で図書の貸し出し冊数が月平均300冊を超えていた。貸出冊数が300冊に満たない学校も月平均289冊であった。 (ウ) ①1日当たり120人の児童が学校外教育活動に参加している。 これまで計14,001人の児童が子ども図書館を利用しており、1日あたりの利用者は当初設定していた数字とほぼ同じ利用者数を上回るである172人であり、達成の見込みは高い。 ②不就学児童35名が教育の提供を得ている。 不就学児を対象とした学習教室はニーズが高く、現在42人が参加している。
これまでの実施内容・状況	(1) 校舎建設活動 対象校であるシャラケ・タラ校において、3月下旬には、建設用地の整地を開始（活動1-2-1）。新校舎の完成と安全な作業工程を祈る祈祷式を4月11日に実施した。この式には、教育省からアハマド・ザミール教育局長らや、当会の現地代表が参加し、新校舎が日本の支援によって行われることを説明した。基礎部分の石積み作業（活動1-2-2）は4月に開始し、5月2日に完了。鉄筋コンクリート作業（活動1-2-3）が同月14日に、壁の組石工事（活動1-2-4）が同月31日に完了した。6月現在、柱の鉄筋コンクリート工事（活動1-2-5）が進行している。おおむね計画通り進行している。

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2018年6月27日

報告書名：平成29年度 日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

	<p>(2) 図書室改善活動</p> <p>5月末までに当初予定した14校のうち12校(カブール市内2校、ナンガハル県10校)に対して、図書室用備品(本棚、机、椅子)と図書856冊を供与し、学校図書室の設置を行った。残りの2校のうち1校は現在校舎建設が進行中である。そのため、校舎完成後に図書室の整備を行う。</p> <p>「第2回一般教員研修」を予定していたナンガハル県6校で実施した。これらの学校は、第1回一般教員研修を昨年実施済みである。前回の参加者は合計149人であったが、今年は昨年より20人多い169人が参加した。</p> <p>ナンガハル県では、第1回一般教員研修が6月以降、第1・2回図書室担当教員研修は10月以降に実施予定である。カブール市内の対象校は、始業時期が異なるため、これらの研修を7月以降に実施予定。</p> <p>月1回、モニタリングを兼ねた移動図書館活動を実施しており、ナンガハル県の対象校6校で合計24回実施した。移動図書館活動に参加した児童はのべ1,114人で、図書の貸し出し冊数は1校あたり月平均365冊であった。カブール市の対象校については学校が開始される4月以降に実施している。残りの対象校に関しては図書室の設置、研修後に実施予定である。</p> <p>(3) 子どもの学校外教育活動</p> <p>ジャララバード市内にある「子ども図書館」の運営を行っている。この施設では、図書の自由閲覧、貸し出し、読み聞かせといった図書活動と、絵画、工作、縫製、タラナ(朗詠)教室といった文化活動を実施した。5月末まで、81日間開館し、延べ14,001人が「子ども図書館」を利用しており、一日平均では172人である。</p> <p>上記の図書館において特別行事を実施した。これまで国際女性の日(3月8日)、誕生日会(4月19日)、国際図書の日(同月23日)、母の日(5月15日)を祝う行事を開催し、645人の子どもと、50人の母親が参加した。それぞれのイベントでは、テーマに合わせてコーランの朗読、詩の朗読、寸劇や人形劇等の活動を行った。</p>
課題と対応策	事業の大幅な遅れや中止に至る大きな影響はないが、流動的な治安状況には、注視していく必要がある。特に、10月の議会選挙を控える本国では、タリバンやISと名乗る反政府武装勢力による選挙妨害としてテロや襲撃事件が相次いでいる。このような武装勢力だけでなく、政府や駐留する他国軍の動きも踏まえ、より一層の警戒と安全管理対策の強化が必要とされる。